

2007年12月5日
イオン株式会社

(株)C F Sコーポレーションに対する当社提案への回答申し入れについて

標記の件につき経過をご説明するとともに、(株)C F Sコーポレーション(以下、「C F S」)に対して、早急に回答を頂くよう要請したことをご報告申し上げます。

当社は、10月5日、C F Sとアインとの統合の公表後、これに反対の立場を表明し、11月16日、今回のC F Sとアインの統合案の統合比率が、C F Sの株主にとってその株式価値を大きく毀損するものであることを指摘するとともに、C F Sの企業価値を高めるための企業価値向上策をC F Sに提案いたしました。

その後、当社は、経営幹部と組合幹部の方々に直接ご説明する機会を頂き、その上で、C F Sより12月3日までに当社提案について何らかのご回答を頂けるとお話を賜っておりましたが、一昨日3日、C F Sからは、再度検討期間の延長の申し入れがありました。

当社としては、既に11月16日に企業価値向上策をご提案ご説明申し上げ、かつ経営幹部・組合幹部へのご説明の日程についても、C F Sの要望に合わせて行っており、十分な時間的配慮に努めております。当社としては、当社提案の企業価値向上策についてC F S株主へ十分な時間をもって説明し判断して頂く必要があるため、本日、来たる12月10日(月)を期限にC F Sに対し当社提案に関する最終結論につき返答を要請いたしました。

当社としては、C F Sの経営陣に、株主や従業員を考慮した正しい判断をして頂き、統合案を見直していただけることに大きな期待をしております。しかしながら、C F Sが統合案の見直しをしない場合、当社としては、C F S株主の皆様到来年1月下旬開催予定とされる臨時株主総会において、株式移転計画承認議案への反対をお願いする意向であり、その場合には委任状の勧誘を行うことも検討しております。

本プレスリリースは、株主の皆様に対し、上記臨時株主総会における議決権の代理行使の勧誘を行う趣旨のものではありません。

以上